

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野南小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 理科の「エネルギー」を柱とする領域に課題が見られる学年があった。知識を身に付けた上で、それらを活用し、問題を解決しようとする力に課題のある児童が見られる。 【指導上の課題】 今後は、より指導事項の定着を図るとともに、児童の理解度を適切に把握し、より授業改善を図ることが必要である。	⇒ 探究的な学びの充実、個別最適・協働的な学びの充実を図り、学習の面白さ、達成感を感じる授業を展開する。また、学習したことと生活の結びつきを感じさせ、学習の必要感を感じさせる授業を展開する。 授業中に児童が自分の学びを振り返る時間を設定し、次の学びに生かせるようにする。また、振り返りをふまえて、児童とともに必要感のある課題を設定したり、児童が主体的に課題を解決したりする場を設定する。【さいたま市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的評価95%以上】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 国語の「読むこと」「書くこと」の領域において、市平均を下回り、課題が見られる学年があった。 学習を通して、学びに向かう姿勢や考えて表現しようとする意欲に課題のある児童が見られる。 【指導上の課題】 学習における児童の思考を深めたり、さらに広げてたりしていくために、今後は、子ども主体の学びとなるような授業をより一層展開していくことが必要である。	⇒ 「読むこと」について、学習の展開の中で、読む視点を絞って読み取る学習を行う。【国語】「単元」 一人1台タブレットを効果的に活用しながら、文章の構成やモデリングなどを提示する。【国語】「書く」単元 学びのポイントを意識した授業を展開し、児童が考えを友達と共有しながら、主体的に自身の思考を深められるように授業を展開する。【さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的評価95%以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		結果提供(7月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)